

西川僚隊員

地域おこし協力隊の西川僚です。

名寄市で活動を始めてもうすぐ半年が経とうとしています。今回は今年栽培したスイートコーン、スタッフとして参加したなよろ産業まつりについて報告します。

スイートコーンは、一通り栽培してみても繊細な作物だと思います。6月初旬の霜が実の大きさに影響し、小さくて収穫できないものがありました。防除もしつかりしないと虫食いで売り物にならないものがあったり、収穫も朝早いですが手がかければ良いものを作れると思います。味は甘いものが採れましたが、先輩農家さんと比べるとまだまだなので来年改善していきたいです。

初めてのなよろ産業まつりはスタッフとして参加しました。もちまきや野菜の直売などがあり、改めて農業が基幹産業である名寄市らしいおまつりだと思いました。印象に残っているのはもちつきチャンピオン決定戦です。臼運びをしましたが、と

問い合わせ 農務課（風連庁舎1階）

☎016555③2511

（内線2319）

ても重かったです。ステージでは参加者が力強くもちつきをして盛り上がった様子が印象的でした。何年後か、相方を見つけて挑戦してみたいと思います。



▶ 来年は今年よりもおいしいスイートコーンを目指して頑張ります。



▶ なよろと2シヨット。実はこの時に初めてなよろつを知りました。

地域おこし協力隊活動報告

名寄市地域おこし協力隊として活躍している西川僚隊員と森和季隊員に、協力隊としての活動や名寄市で暮らして感じたことなどを報告していただきました！

森和季隊員

こんにちは、地域おこし協力隊の森和季です。

今年の夏は、サバイバルゲームの運営やひまわりまつりのほか、観光庁の「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」の企画・運営に携わっていました。

この事業では、カヌー&サイクリング体験、キャンプ体験、農園&もちつき体験の3つのプログラムのモニターツアーを行い、多くの方に参加していただきました。どのツアーも、はじめに名寄市をより知ることのできる講義から始まり、カヌーに乗る方はオリジナルパドルを作成して、実際にそのパドルを使って天塩川を下るなどアクティビティを体験します。

今回の事業実施を通して改善点を見直し、体験されるお客さまがより良い思い出を作れるようなプログラムを日々考えていかなければならないと痛感しました。

また、7月23日(土)に開催され

問い合わせ 産業振興課（名寄庁舎3階）

☎016554③2111（内線3349、3350）

NPO法人なよろ観光まちづくり協会（東1南7）

☎016554⑨6711

た「ezomen2022」において、なよろ観光まちづくり協会がグループ部門のグランプリを受賞しました！
YouTubeにてアーカイブ配信もしておりますので、ぜひ左側のコードからご覧ください。（当協会登場は1時間33分頃から）



▲ezomen2022のようすはこちらから(YouTube)

◀「ezomen2022」グループ部門グランプリのトロフィーとともに。

